

小学3年 総合的な学習の時間

「白山ひめ鮎」のひみつを調べてまとめてつたえよう

ねらい

- ・アユと手取川の関係について他校の3年生に発信することができる。
- ・関連図書を読んで、分かったことを共有し、学習に生かすことができる。

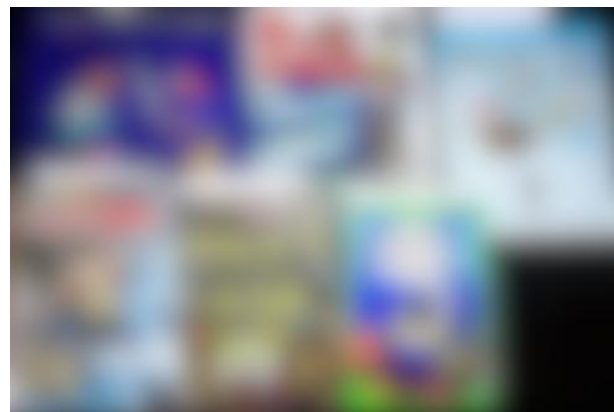
学習展開（20 時間）

- ① 学習のゴール「アユと手取川の関係について他校の3年生に発信しよう」を知り、学習の見通しをもつ。
- ② アユについて下調べをする。（図書など）
- ③ 例年3年生が体験する稚アユの放流、また地域の「白山ひめ鮎」の専門家との交流（講義・見学・実習・実地体験）を通して、知識を深め、さらに調べてみたいこと（疑問や課題）を持つ。
- ④ 図書資料を使い、③について調べを深める。
- ⑤ 調べたことについて、中間まとめを行い、友だちと体験や本から得た知識を共有する。
- ⑥ 中間のまとめをもとに、学習のまとめの発表について話し合い、「劇」の形式にまとめる。
- ⑦ 11月の「白山ジオ学習発表会」で発表する。

指導のポイント

- 司書と相談し、春のアユの放流体験の少し前から、関連図書を選書してもらい準備した。
- 初期の学習のサポートになるよう、アユに親しみやすい絵本や図鑑を司書に選書してもらい、総合的な学習の時間に向かう意欲の向上、興味関心の向上を図った。
- 上記の図書は、教室に事前に展示し、休み時間など隙間時間にいつでも児童が手に取って読めるようにした。また、特にアユについて書かれているページには、わかりやすいようにしおりを挟んでおいてもらい、話題になった時にすぐに参照できるようにした。
- 初期の学習の興味付けにおける図書資料の利用および、複数の体験活動（アユの放流、地元の専門家との実地見学、調理体験）から疑問を見つけ、図書等を使って調べる「深め」のための図書資料活用にもつなげたい。

川魚（生態等）に関する図書（図鑑学習マンガ等）



地域の専門家からの情報と合わせて学習



学校図書館との関わり

- アユの暮らしや生態について、分かりやすく書かれている本を関連読書用に準備した。単元の初期の興味付けや関心意欲を高める意図で選書した。
- 川魚の絵本「やまめとさくらます」（おくやまふみや・ポツ出版）を読み聞かせタイム「お話キャラバン」（担任以外が担当）を活用して取り上げ、興味関心を高めた。
- 調べの場面において、3年生までの既習「利用指導」内容について、司書の支援が必要か担任と相談しながら進めることにしている。